

協定校留学【終了】報告書

※現地の様子や大学の風景、ご友人との写真を添付して頂けると大変参考になります。ご協力ください。
 ※帰国後1カ月以内に提出(送信)してください。
 ※津田塾大学海外留学(派遣・受入)奨学金受給者はこの報告書をもって奨学金受給者報告書とします。

留学先大学	リーズ大学	氏名	
国名	英国	学籍番号	
留学期間	2023年 8月 ~ 2024年 6月	記入年月日	2024年 7月 17日

1 履修したすべての科目についてお書きください			
主な専攻分野: 言語学			
科目名	Key Concepts of English Language Study One	科目名	Laguage: Structure and Sound
授業内容	英語学部の授業。文法や英文構造の分析、修辞法について学んだ。演習では法廷での尋問のレトリックの分析、広告分析、政治演説の分析をした。評価はエッセイ、グループプレゼン、オンラインテストの総合点。	授業内容	言語学学部の授業。音韻論と音声学、統語論を中心に、言語学の基礎を学んだ。時間制限のオンラインテストでは、実在するマイナー言語の言語データをもとにそれぞれの要素の役割を推測する力が求められた。評価はエッセイとテスト。
授業形式	レクチャー2+セミナー1	授業形式	レクチャー2+セミナー1
単位数	20 credits	単位数	20 credits
サイズ	大	サイズ	中
難易度 Course No.	普通	難易度 Course No.	やや難しめ
宿題の量	多め	宿題の量	多め
コメント	毎週のセミナーでは、事前に配布される文書をレクチャーで学んだ知識をもとに自分たちで分析し、意見を持ち寄ってディスカッションを行った。セミナーの人数が少なかったため、挙手制ではなく全員の意見がきかれ、フィードバックも丁寧にもらえた。個人的には自分の英語のレベルに臆することなく現地の学生との話し合いに参加しやすい形式だったので、とてもよかった。	コメント	津田塾でも学んだことのある分野だったが、セミナーでは周りが自分以外イギリス人だったこともあり、特に音声面の分析では現地の学生についていくのが難しく、毎回のセミナー後に教授に個人的に解説をしてもらっていた。特にテストは不安があったが、複数のトピックから得意な分野を4つ選択することができたので、なんとかパスすることができた。
科目名	Meaning and Use	科目名	Psycholinguistics
授業内容	言語学学部の授業。意味論と語用論の基礎、社会言語学を学んだ。レクチャー前に教科書の予習と論文に目を通し、セミナーでは実践的に問題を解いた。評価は期末のオンライン論述テストが100%。	授業内容	言語学学部の2年生以上向けの授業。言語障害、子供の言語獲得、第2言語学習、など、脳の働きと言語の関係について、脳科学と言語学、心理学の面を合わせた研究を学んだ。
授業形式	レクチャー2+セミナー1	授業形式	レクチャー1(90分)+セミナー1(隔週)
単位数	20 credits	単位数	20 credits
サイズ	中	サイズ	小
難易度 Course No.	普通	難易度 Course No.	難しめ
宿題の量	普通	宿題の量	普通
コメント	内容は複雑ではなかったが、期末テストは制限時間付きの論述でトピックが3つあり、時間内にトピックに沿った文献を用いて論理的に説明する必要があったので大変だった。テスト勉強では、語句をおぼえておくことと、分野ごとに文献をいくつか読んで自分なりの理解と意見をもっておくことを意識した。	コメント	心理言語学なので、言語学の分野と心理学の分野の掛け合わせが興味深かった。内容の難易度も高い上に、エッセイで求められるレベルも高くなっていた。とくに、具体的な数値をつかった研究を紐解いて論拠とすることを厳しく指導された。セミナーの予習と最終エッセイは文献が難しく苦労したが、力がついたと感じる。

科目名	Music in History and Culture	科目名	Introduction to Musical Theatre
授業内容	音楽学部の授業。ルネサンス期からEDMまで、また民俗音楽など、さまざまな時代や地域の音楽を広く学んだ。レクチャーで基礎的な知識を学び、セミナーでは複数の文献を読んで批評を行った。評価はレポート2本。	授業内容	Theatre Performanceの授業のひとつ。ミュージカルの歴史や舞台演出についての基礎を学んだ。演劇の構成・構造や、歴史的背景、衣装、ダンス、音楽表現などさまざまな角度から批評を行った。評価はグループプレゼンとエッセイ。
授業形式	レクチャー2(時々3)+セミナー1	授業形式	レクチャー1(120分)
単位数	20 credits	単位数	20 credits
サイズ	大	サイズ	中
難易度 Course No.	やや難しめ	難易度 Course No.	普通
宿題の量	多め	宿題の量	少なめ
コメント	私が取っていた中で、最も1週間に授業が多いモジュールだった。セミナーまでに大量の論文を読んで理解し、自分なりの意見をまとめておく必要があったので大変だった。レポートのトピックが難しく、他の授業とも形式が大きく異なっていたため、完成させるのにかなり時間がかかった。授業内容以外に個人的に興味をもった分野の深掘りをする上で、論理性と音楽批評の知識が求められた。	コメント	他の学部の授業に比べて、圧倒的に留学生が多かった。国内、海外のもの問わず、ミュージカル観劇が趣味だったため受講し、休みの日はウエストエンドに通った。エッセイでは自分の批評したいミュージカルのトピックの英語文献が少なかった(ドイツ語圏やフランス語圏発祥のもの)ため、途中でトピックを他の演目にかえるなど苦労したが、自分の興味のある分野と授業で学んだことを上手く盛り込んで完成させることができた。
科目名		科目名	
授業内容		授業内容	
授業形式		授業形式	
単位数		単位数	
サイズ		サイズ	
難易度 Course No.		難易度 Course No.	
宿題の量		宿題の量	
コメント		コメント	
科目名		科目名	
授業内容		授業内容	
授業形式		授業形式	
単位数		単位数	
サイズ		サイズ	
難易度 Course No.		難易度 Course No.	
宿題の量		宿題の量	
コメント		コメント	

6	医療保険についてお書きください	
	渡航前に加入した保険	
	OSSMA plus	
	留学先大学にあった医療保険制度	
	オリエンテーション期間にNHSと大学の病院などの登録の説明がありました	
6	留学中に受けた診察(もし差し支えなければ記入してください)	
	なし	
7	費用について教えてください(実際にかかった費用のみ記入してください)	
	(現地通貨)	
	渡航旅費	140,000 円
	帰国旅費	100,000 円
	引越し(往復で)	円
	保険	86,120 円
	語学研修費	3,090 556,200 円
	留学先学費	17,800 3,204,000 円
	本学学費	200,000 円
	教材費	0 0 円
	住居費	7,795 1,403,100 円
	食費	1,305 234,900 円
	その他()	350,000 円
	()	円
	()	円
合計	6,274,320 円	
換算率 (<input type="text" value="1"/> = <input type="text" value="180"/> 円)		
受給した奨学金(留学用、給付)があれば記入してください		
卒業生の寄付による奨学金		
8	留学前の準備について教えてください	
	日本から持参すべきもの	
	(イギリスは乾燥しているので)乾燥対策のもの、ビタミン剤など	
留学前にしておけばよかったこと		
最初の頃はリスニング力の問題で一番困ったので、特にリスニング対策に力をいれておくべきだったと思いました。あとは、日本のアニメやKポップ、ヒットした映画などを全く知らなくて話に入れないこともあったので、日本の文化に限らずある程度知っておけばよかったと思いました。		

9	<p>適応しにくかったこと(学習面・生活面)があれば、記入してください</p> <p>イギリスの冬は天気が悪く日照時間もかなり短いので、気分が落ち込みました。また、私は人混みや音の大きいところが苦手なので、パブ文化やクラブに最後まで適応することができませんでした。最初の方は克服しようとしていましたが、新しいことに挑戦しつつ、自分にあった生活をするのも大切だと思うようになりました。結果的には時々イベントに参加することで、話していて仲良くなった友達と少人数で遊びに行くことが増えたのでよかったです。学習面では、クラスメートに助けってもらったり、先生に授業後に質問しに行ったりすることで、わからないところを解消していきました。</p>
10	<p>留学の成果(学習面・精神面)を教えてください</p> <p>学習面では、特に何本もエッセイを書いたことで複数の文献を読んで傾向をつかみ、批判的、論理的に意見を書いていく力が身につきました。また、同時並行で計画的に勉強をしていくことをおぼえました。精神面では、もともとは内気でなかなか積極的になれなかったのですが、チャンスを見つけて挑戦してみる姿勢が身に付いたと感じています。一人で海外旅行を試みたり、学内でのインタビューを受けてみたりなど、短期間でいろいろなことに挑戦しました。また、せっかく留学に来たのだから友達を沢山つくりたいと思い、言語交換やパートナー制度、インターナショナル生たちが集まるイベントに参加するなどして、少しずつ友達の輪が広がっていきました。特に、ミュージカル好きの友達を見つけて一緒に観劇や映画観賞をしたり、少人数のグループで旅行したりできたのも、自分から友達をつくり外に出ていったからこそだと思うので、積極的に挑戦をして自信をつけることが精神的に成長した部分です。イギリス人の友達が日本に遊びに来てくれる予定なので、これからも留学中の友達との交流を大切にしていきたいです。</p>
11	<p>今後の学習計画および進路について(就職活動)教えてください</p> <p>今後は、インターンに申し込んで就職活動を進めていくつもりです。5年で卒業になるので、留学中に専攻していた言語学と所属のイギリス文学ゼミの勉強に励みつつ、教養科目の学習やその他設置されている副専攻コースなどに挑戦してみようと考えています。</p>
12	<p>留学を目指す後輩へのメッセージをお願いします</p> <p>留学は未知のことばかりで不安な気持ちも沢山あるかと思いますが、ですが、困難が多くあっても留学を終了する頃には「留学に挑戦してよかった」と思うはずですよ。それほど、留学を通して学べること、成長できることは沢山あります。ぜひ、留学を迷ってる方、留学を決めて不安に感じている方には、成長できる最大のチャンスだと考えて、飛び込んでほしいです。きっと、留学したら「せっかくここまで来たから頑張ろう！」という気持ちの積み重ねで、大きく飛躍できると思います。ぜひ困難をのりこえて楽しい思い出をつくってください。</p>
13	<p>その他、ご自由に意見を書き込んでください</p>

※本報告書は国際センターホームページに掲載します。下記のいずれかに✓をしてください。

国際センターホームページへの報告書の掲載を

(許可する(写真含む) 写真掲載のみ不可 許可しない)

※Web掲載を許可する場合は、報告書は手書きではなくパソコン入力してください。
ホームページに掲載する際は、個人情報(学籍番号および氏名)は非公開とします。